

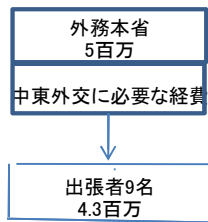
平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アフガニスタン復興支援会合		担当部局庁	中東アフリカ局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度開始		担当課室	中東第二課		課長 中込 正志		
会計区分	一般会計		施策名	中東地域外交に必要な経費				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第二・三項		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アフガニスタン政府は、反政府勢力の社会復帰(再統合)を最重要課題の一つとしており、我が国が、DDR・DIAG(下記参照)での経験を活かし、この課題に関する国際会議を開催することにより、アフガン政府の努力を後押しし、アフガニスタン復興支援に貢献すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	a. アフガニスタン復興支援について、G8で分担する治安分野改革の一環として、我が国は、DDR(元兵士の武装解除、動員解除及び社会復帰)及びDIAG(Disbandment of legal Armed Groups:DIAG)支援を主導してきた。2009年11月に、我が国は概ね5年間で最大約50億ドル程度までの規模の支援を発表。この中で、元タリバーン末端兵士を含む反政府勢力の再統合を最重要課題の一つと位置づけた。本分野の主導国として、アフガニスタン政府の実施するDIAGの着実な実施とその取り進め方及び成果を確認するための会合を本邦にて開催する経費を要求する。 b. また、会合の実施に当たり、我が国として主導する再統合支援を着実に推進するため、アフガニスタン政府及びUNAMAとの協議を担当事務レベルで行うことが必要である。については、このための出張旅費を併せて要求する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	10	10	8	40	6	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
	計		10	10	8	40	6	
	執行額		9	5	5			
執行率(%)		89.0	47.4	54.7				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	【成果目標】アフガニスタン政府が重視する反政府勢力の社会復帰(再統合)の分野で同国政府の努力を後押しし、復興支援に貢献する。 【はかり方】会議への参加人数(準備会合を含む)		成果実績	人	13	5	9	1回
			達成度	%	50	50	50	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	アフガニスタン復興支援について、反政府勢力の社会復帰(再統合)に関する国際会議を日本で開催する。またそのための準備作業を行う(平成23年度は実施に向けて準備を進めていたものの、出席者の調整及び会議開催のタイミングがつかず、中止)。		活動実績 (当初見込み)	回	0	0 (1)	0 (1)	— (1)
単位当たりコスト	0.4 (百万円/1人)		算出根拠	予算額/出張者数				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	その他	40	6	24年度は「アフガニスタンに関する東京会合」が開催され予算額が大きかった。				
	計	40	6					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	24年7月に「アフガンに関する東京会合」が開催されるところ23年度においては、その準備、各国における準備会合への出席のため本邦において会合が開催されなかった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大さい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	各国における準備会合等出席するための航空賃については数社による見積もり合わせにより割安のものを利用している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成24年7月に開催される本邦での会合に向け各国との調整等を行うことができた。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件については、見積もり合わせを行うなどして単位当たりのコスト削減に努めつつ、東京会合に向けた有益な調整が行われた。今後も単位当たりのコストの削減に努め事業を実施していく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		—	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
現状通り		—	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	499	平成23年行政事業レビュー	486

個別事業名： アフガニスタン復興支援会合

※平成23年度実績を記



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

個別事業名：

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名： アフガニスタン復興支援会合

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	出張	1		
2	出張者B	出張	0.8		
3	出張者C	出張	0.7		
4	出張者D	出張	0.6		
5	出張者E	出張	0.5		
6	出張者F	出張	0.4		
7	出張者G	出張	0.4		
8	出張者H	出張	0.3		
9	出張者I	出張	0.2		
10					